

学校教育目標	夢と志を持ち、主体的に学ぶ子供の育成	尾道市立美木原小学校
--------	--------------------	------------

a ミッション	小中連携を核とした組織的な研究による学力向上 ～学校図書館教育の深化と発信～	a ビジョン	～花と緑と子供笑顔があふれる学校～ ○確かて豊かな学力をつける学校 ○学びの環境が整い、規律ある学校 ○地域と連携し信頼される学校
---------	---	--------	--

評価計画				自己評価				学校関係者評価			改善計画		
b 中期経営目標	c 短期経営目標	d 目標達成のための対策	e 評価指標	f 目標値	7月	1月	h 達成度	i 評価	k 二次評価			l コメント	m 改善案
				達成率	達成率			イ	ロ	ハ			
主体的な学びの育成	基礎学力の向上	①ドリルタイムの徹底 ②読書活動の充実	□国語科・算数科の単元末・期末のテストの通過率	全国平均以上(一学期 国語 81.9 算数 80.2 算数 83.1)	国語 81.9	算数 80.5	国語 102.1	B	2		1	・国語・算数それぞれの課題に取り組んでください。 ・思考ツールは低学年は難しいですが、低学年から徐々に取り組んで欲しい。 ・算数における課題を改善していただけるよう期待しております。 低学年から図書館活用や読書をしているので結果は出ると思う。 基礎的な計算力をしっかりつけて欲しいと思う。	○四則計算を中心としたドリルタイムを今後も継続して行い、着実に計算力を身に付けさせる。 ○多種多様な本を読み、様々な価値観や表現に触れることができるよう、これまで以上に図書室を利用した授業や活動を行っている。 ○それぞれの学習で使用用語や言葉を理解させ、説明を書いたり話したりする時間を確保し、筋道の通った説明ができるようにしていく。
			□国語科・算数科標準学力調査の通過率	全国平均以上									
主体的・協働的に物事に取り組むことができる子供の育成	「調べる力」「まとめる力」「伝える力」の向上	③チェックカード活用の充実	□児童アンケート調査による児童の情報活用に関する肯定的評価	80	85.5		106.9	A	3			・今まで通り活用して欲しいです。 ・図書館の利用や読書量の多さは素晴らしいので、これからも継続して欲しいと思う。	○課題解決学習となる単元を構成し、主体的に調べ学習を行わせる。情報活用パワーアップカードを効果的に活用し、多様な調べ方やまとめ方を学習させる。 ○普段の授業や活動、家庭学習でも、思考ツールを意図的に活用する場面を持たせていく。
			□学校アンケートによる児童及び保護者のあいさつに関する肯定的評価	85	90.7		106.7	A	3				・よくできています。 ・今後も挨拶の運動を続けて欲しい。 ・挨拶の大事さを今後も伝えていっていただき、笑顔ではっきりと挨拶ができるよう取り組んでいきたい。
主体的・協働的に物事に取り組むことができる子供の育成	児童会主体の学校環境づくり	②縦割り班活動の充実	□児童によるアンケート(自己有用感に関する肯定的評価)	85	93.4		109.9	A	3			・「ありがとうカード」いいですね。 ・学校いつもきれいです。 ・児童会・委員会の活動が積極的によいと思う。 ○自分自信が持っている児童が多いというのは大変喜ばしいことである。	○「ありがとうカード」は今後も続けていく。特にお世話になることが多い低学年は、してもらうことに感謝の気持ちを持つことを日頃から伝えていく。 ○できることの違う縦割り班の集団だからこそ配慮して伝えることと受け止めて伸びようとするということがはつきり行えた。今後も児童会・委員会の活動を活性化していきたい。
			□児童会を中心にあいさつの運動を進めてきた。また、教員が全児童に対してあいさつのよい児童に肯定的評価を繰り返してきた。今後は評価する人を地域に広げあいさつができる子を増やしていく。										